

平成30年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立八幡台小学校

作成日

平成31年 3月 1日

1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成

- 心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子
- 豊かな心を持ち、思いやりのある子
- 正しい判断のもと自ら進んで実践する子

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○漢字博士試験合格90% ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○生活習慣チェック合格率95%以上	○学校行事ごとの地域回覧板活用による情報発信率100% ○ホームページ更新随時
重点目標に対する	○漢字や計算等、基礎基本の反復練習を取り入れているのはよいことである。	○人の気持ちのわかる子どもを育ててほしい。教師が手を挙げられないことを見越して、怒らせようとするような卑劣な人間を作らないように願う。 ○いじめ等がなかったか心配である。	○長期休業明けの生活習慣改善についての取組は必要であると考え。 ○運動面での指標も示してほしい。	○地域への発信として、回覧板は有効である。 ○行事のたびにホームページに新しい記事が載っていて楽しみにしている保護者も多いと聞く。 ○発信方法だけでない指標が必要である。
取組状況に対する	○学校の取組を理解してもらい、協力体制を築くのは、やはり懇談会である。 ○授業にICT機器を効果的に活用していた。	○道徳の実践に力を入れているとのこと。大きないじめも見られず、子どもたちが落ち着いている。	○軽度な楽しめる運動を続けられるようにしてほしい。 ○生活習慣の改善は、長期休業明けに特に行っており、取組時期も適切である。	○地域としても、大人と子どもの垣根をなくし、楽しいコミュニケーションを育みたいと考えている。
取組の適切さの検証結果	○学習の基本は、まず読むこと、理解する力であり、家庭にも、読書の大切さを伝えてほしい。	○訪問したときには、低学年・高学年に関係なく、先に挨拶してくれ、短い会話もある。廊下の掲示物を見ていると、説明してくれるなど学校の指導が子どもたちに行き届いていると感じた。	○生活習慣の改善は、子どもへの指導や家庭との連携だけでは向上しにくい。	○地域の方への感謝の集会は、気持ちのこもった集会となり、学校と関わりを持った地域の方とのまとめの交流にふさわしい会となった。
改善年度に向けての意見	○子どもの学習意欲を高め、根気よく考える力をつけ、学ぶ楽しさを味わわせてほしい。 ○読書の量を増やすことに重点を置いてほしい。 ○きめ細かい指導を行ってほしい。	○命の大切さ、友達との心の通い合い、親と子の絆等、豊かな心の育成は、学校だけの問題ではなく、家庭との連携が不可欠である。 ○細かなことも見過ごさずに、家庭と連絡を取り合うことが大切である。	○生活習慣だけでなく、楽しく運動できる環境作りをお願いしたい。 ○体力をつけて健康な体を手に入れるためにも、運動面での指標も作った方がよい。	○地域の方が学校へ集まりやすい環境を作ってほしい。 ○今後も、地域に広く情報を発信し、保護者や地域の方々の理解を得て、充実した支援・協力が得られるようにしてほしい。 ○地域と関わる場作りを考えてほしい。

3 その他のご意見

子どもに実施した学校生活に関するアンケート等からも、学校生活が楽しいことが伝わってくる。授業参観には、保護者の出席率はかなり高いが、後の懇談会の参加が少ないように思う。学級通信等で内容を知らせるなど一人でも多くの参加を促すような取組を願う。
保護者どうしが交流できる場を持つことができないだろうか。月1回でも気軽に子育ての悩みや、日頃思っていることなど、学校で交流できればよいと思う。